

研究室 からの メッセージ 173

Data(2020年4月現在)

所在地 〒951-8121 新潟県新潟市中央区水道町1-5939

スタッフ 坪川トモ子(教授), 渡邊路子(助教), 田辺生子(助教), 伊豆麻子(助教), 中平浩人(教授)

URL www.n-seiryu.ac.jp/faculty/nsu/nursing



左から, 坪川, 伊豆, 田辺, 渡邊, 中平

新潟青陵大学看護学部看護学科

地域看護領域(公衆衛生看護学・在宅看護学)

History and Now

どのような機関なのでしょう？

本学は看護学部と福祉心理学部の2学部からなる大学です。1900(明治33)年に開学した縫製伝習所を礎とし、120年の歴史の中で発展的な改組を経て、2000(平成12)年に大学として開学しました。2020(令和2)年度からは大学院看護学研究科にヒューマンケア看護学分野を設け、保健師が修学しやすい環境を整えました。学舎は日本海を望む小丘にあり、日本一海に近い大学です。日本海に沈む夕陽は格別で、海沿いの散歩コースや砂浜は学生たちの憩いの場になっています。

Education

どのような教育をしていますか？

選択制による保健師養成課程です。2019(平成31)年度から看護教育モデル・コア・カリキュラムを踏まえた新カリキュラムをスタートさせました。行政分野の実習を3年次と4年次に分けて段階的に学ぶよう配置しています。保健師選択必修科目は2年次前期から開始し、必要な科目を履修しながら保健師資格を取得する意思を固め、3年次前期から実習に臨みます。最後の4年次後期で公衆衛生看護管理と施策化・事業化を学ぶ科目を履修します。教員体制は、公衆衛生学・産業保健専門の医系教員(中平)との協働で行っています。

保健師活動を実際に理解する工夫の一つとして、本学と包括連携協定のある町に出向く臨地授業

を取り入れています。保健師や地区組織の代表者から活動実践を伺い、地区を巡りながら住民の方々に話を伺います。学生にとっては全てが新鮮で、座学では学び得ない貴重な経験の機会になっています。

Research

どのような研究をしていますか？

教員それぞれの経験や専門性を活かした研究に取り組んでいます。研究テーマは、「住民組織・グループの主体性」「地域のソーシャルキャピタルと高齢者の健康」「高齢者の食品摂取多様性」「睡眠と健康」「建造環境からの健康支援」「ソーシャルネットワーク」「災害保健活動」「精神障害者家族会・ひきこもり家族会支援」「水俣病発生地域における高齢者の健康支援」など多岐にわたります。

Collaboration

保健活動の現場とのつながりは？

地域における実務者研修の講師や看護研究指導などの現任研修、行政計画策定や各種協議会の委員、地域の当事者グループ支援など、教員それぞれが専門性を活かして地域とつながりのある活動を実践しています。

学生の臨地実習では、経験豊富な保健師先輩諸氏から巡回指導に協力いただき、保健師魂を含めた実践的な学びにつながっています。また、実習施設の保健師の方々や本学を卒業した保健師から、キャリア教育の講師にお出でいただくなど、大学と現場との双方向でつながりを図っています。

ひとこと

保健師を目指して入学する学生は若干名ですが、学修する中で保健師に関心を持ち、保健師を志すように変化する学生の姿は頼もしく、我々の楽しみでもあります。開学20年、県内外で保健師として活躍している卒業生は約80名になっています。今後も現場と連携し、保健師活動の推進に貢献できるよう努めていきたいと思っています。

一同

あなたの
研究室を
紹介して
ください!

保健師ジャーナルでは、このページに登場してくださる研究室(保健師教育に関わる講座・分野・領域)を募集中です。研究室での保健師教育の特色や、研究活動、現場とのつながりをご紹介します。

応募方法 電話, FAX, E-mail のいずれかにて編集室までご連絡ください。掲載分には医学書院特製図書カードを進呈いたします。

連絡先 医学書院「保健師ジャーナル」編集室 ☎ 03-3817-5774 FAX 03-5804-0485 メール hokenshi@gigaku-shoin.co.jp